

先日、当施設に東京都内を中心に活動している「阿波踊り」の団体「鳳連（おおとりれん）」の皆様ボランティアとして訪問して頂きました。皆様の踊りが始まった瞬間から空気は一変。静かなフロアにお囃子の力強い音色と、華やかな衣装を身に纏った大人から子ども達、踊り手さんの活気で一気に、にぎやかな空気になりました。

何より圧倒されたのは、踊り手さんの「本気」の姿です。大きな動きから指先の細部に至るまで、全力を注ぎ、心底楽しそうに、そして真剣に踊るそのエネルギーは、見ている私たちの胸にダイレクトに響いてきました。



指先まで神経の通った力強い演舞！！



その熱量に呼応するように、利用者様も自然と笑顔になり、最後は一緒に手を動かして踊りました。中には「感動した。来てくれてありがとう。」と涙を流しながら見入っている方もいらっしゃいました。普段の生活ではなかなか味わうことのできない、心の底から湧き上がるような感動を、会場全体で共有した瞬間でした。

今回の行事を通じて、私たち職員も大切なことを再確認させていただきました。感動を与えるのは、知識や技術だけではなく、その瞬間にどれだけ「全力で、心を込めて向き合っているか」であるということです。「楽しかった」と心から思っていただけのような時間を私たち職員も日々の関わりの中で作っていきたく感じました。

最後になりますが、素晴らしい演舞を披露して下さった「鳳連」の皆様、本当にありがとうございました！！



※個人情報保護の為、写真を一部加工しております。